



事務事業名	いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業	事務事業No.	60305000283	所属課	企画課
-------	----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成19年度に茨城県及び北関沿線9自治体、NEXCO東日本を構成団体とする、いばらき北関沿線地域活性化協議会が組織された。 平成20年4月12日に桜川筑西1C～笠間西1C間が開通し、平成20年12月20日桜川筑西1C～真岡1C間が開通、東北道と常磐道がつながり、平成23年3月19日には全線が開通した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 北関協議会が支援した平成25年度「森コミいち」においてアンケートを実施し、「また来てみたいと思いますか」の設問に対し、回答者48名中46名が「思う」と回答している。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	商工観光課及び観光協会と連携し、効果的なPR活動を実施する。 負担金の減額について検討を求める PR活動の際に、各自治体のゆるキャラが参加することがあるが、桜川市には公認のゆるキャラが存在しないため、商工観光課と連携し、石匠の見世蔵でデザインされたキャラクターであるいしおさんに協力を依頼する。 負担金の金額については、協議会で決定することであるため、構成団体と協議する。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 広域連携による誘客・周遊促進であり、近隣自治体との連携強化に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域情報のPR、周辺自治体との連携であり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 協議会として新たな広域的企画・仕掛けづくりに取り組むことにより、誘客・周遊を促進する余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 北関沿線の自治体やNEXCO東日本との連携する機会が減少する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 北関沿線自治体による連携は他にないが、観光PRが主となる場合、商工観光課が実施しているPR事業と連携できる可能性がある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 協議会の実施事業を見直し、負担金を減額できる可能性がある。 担当者会議や桜川市PRのため出張することが多く、必要最低限の業務時間である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 北関沿線地域の活性化が目的であり、桜川市全体のPRにもつながるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	当市の上野沼やすらぎの里で開催されたイベント「森コミいち」を支援した。次年度も「森コミいち」の支援を協議会構成団体に提案することにより、桜川市のPRにつながる。 協議会の活動としては、観光PRが多いため、商工観光課及び観光協会と連携する必要がある。また、協議会の実施事業を見直し、負担金の減額について検討を求めなければならない。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>